

<p>2018～2019</p> <h2>職員部会ニュース</h2> <p>平成30年度6・7月 東京都公民館連絡協議会</p>	<p>発行：東京都公民館連絡協議会 会長：福生市 職員部会長：小平市 武井 豊 日時：原則毎月第3水曜日 会場：小平市中央公民館 メンバー：日野市（佐藤・大和田） 国分寺市（南波）・国立市（松田） 西東京市（三城）・福生市（松浦） 狛江市（内田）・東大和市（宮鍋） 昭島市（梶芳）・町田市（矢嶋） 小金井市（小磯）・小平市（寺本）</p>
--	---

第3・4回職員部会報告

1 事務局より

○職員部会ニュースコラム担当順

6・7月号 国分寺市、国立市

8・9月号 西東京市、福生市

○東京都公民館研究大会第2回企画委員会の報告

研究大会のメインテーマ決定

「どうなる？どうする？社会教育 ～連携・協働・参加の成果を発信しよう」

～各部会のテーマ（検討中含む）～

委員部会：公民館講座受講後の展開 ～循環型学習をするには～

職員部会：公民館職員としての利用者との関わり方（仮）

福生市：公民館のサークルは地域貢献をしなくてはいけないのか（仮）

または、リーダーの養成（仮）

西東京市：地域づくり事業の実践（仮）～多摩コンファレンス～

～東京都公民館研究大会事務局より～

公民館以外の社会教育施設の関係者も参加するため、各部会のテーマから公民館の冠はできるだけはずしてほしい。

分科会のアンケートが生かされていないため、半年後～1年後にアンケートを実施し、大会の適正な評価をしたい。

2 協議事項に関して

○職員部会研修会内容について

- ①タイトル：「公民館職員としての利用者との関わり方」（仮）
- ②講師：日本女子大学 人間社会学部 田中 雅文 教授
(但し講師都合により、井口 啓太郎氏（国立市職員・文部科学省派遣）に講師変更。)
- ③内容：公民館活動の活性化
利用者を増やす・ニーズを把握するには・人と人とをつなぐ
住民の中から地域で活躍するリーダーを発掘する、養成する など
- ④チラシ：8月上旬に都公連事務局より各市へ送付する予定。
申込書の枠を3人→5人に増やす。
都公連加盟市以外にもPRの意味も含め送付を希望する。
- ⑤アンケート：「所属」（選択式）、「何年目」、「職員部会に望むこと」を項目に追加する。

○東京都公民館研究大会課題別集会について（テーマ、内容など）

- ・研修会同様のテーマで実施する。
- ・事例報告検討のため、各市利用者との取り組み、現状について発表
- ・事例報告者は、小平市、国分寺市で検討する。
- ・助言者は、井口啓太郎氏（国立市職員・文部科学省派遣）に打診する。

前号に引き続き

職員コラム担当市のキャラクターを紹介します☆



©ほっちプロジェクト

国分寺市の貴重な資源、水・緑・光のイメージから生まれた国分寺市にしかない新種のホタル「ぶんじほたるほっち」です。



国立市の「くにニャン」です。赤い三角屋根でおなじみの国立旧駅舎に出入りしていた猫の妖精です。各イベントに参加しています。

子どもまつりでお店を出そう！体験講座『子どもお店チャレンジ』

国分寺市立並木公民館 南波 素子



毎年秋に公民館・図書館と児童館との共催で子どもまつりを開催しています。子どもまつりは、通常の公民館まつりとは別に開催される子ども主体のおまつりです。子どもが自分たちでお店を出すまでの企画や準備を行うことで、主体的にものごとに取り組む力を養い、まつりの準備でさまざまな世代の大人たちと触れ合うことで、社会性を高めてもらおうことを目指しています。

「子どもが自由にお店を出すことができる」とはいえ、「具体的に何をどのようにやればよいのかわからない」という子どもたちのために「子どもまつり体験講座『子どもお店チャレンジ』」を夏休み中に開催します。フードコースは、ツートンレモネード・カラフルわたあめ・しゃかしゃかポップコーンを作成・販売、クラフトコースは、陶芸小物・手芸小物を作成・販売します。参加する子どもたちは小学1～4年生、7/27、7/31 それぞれに1回目の体験講座が終わりましたが、子どもたちの独創性には驚かされます！2時間集中して品物作りを楽しんでいたようです。次回は、お店の名前や、品物の値段、当日の役割を、子どもたち同士で考えて決めます。ここでも子どもたちは、柔軟な発想で、いろいろなアイデアを提案します。さて、今年はどんなお店になるでしょうか。

子どもまつりには、地域の大人の協力がかかせません。大学生のボランティアサークル、公民館を利用し活動しているグループの方、地域で活動している方、小学校のPTAなど。様々な大人に見守られ、また協力しあいながら、子どもたちが自由にのびのびと楽しめるおまつりになることを願っています。

記念の第20回子どもまつり本番は、9月9日(日)10:30から。お時間のある方は、お子さんと一緒にぜひいらしてください！



「憲法を考える連続講座」を開催中！

国立市公民館 松田 由理子

国立市では、今年度「憲法を考える連続講座」を開催しています。この講座は、「難しい」とか「自分には関係のない」と思われがちけれども、実は私たちにとって最も身近で関わりのある憲法について改めて一緒に考えていきましょうという趣旨で企画されました。

連続講座は、夏に前半として4回、秋以降に後半として4回（予定）で開催され、1回の講座は職員が一人ずつ内容を企画し実施します。

今年の春に職員会議でこの企画が提案された時、「憲法か…昔習ったな…」くらいの感覚で「（こうなったら、私

のような）ビギナー向けの入門編をやります！」と言ってしまったのはいいものの、「入門編なら、第1回目だね。」と思われ流れになってしまいました。その後幸い図書室で『憲法カフェへようこそ』というビギナー向けの本と出会い、発行元の「あすわか（明日の自由を守る若手弁護士の会）」から、弁護士の笹泰子さんを講師としてご紹介いただき、7月21日無事第1回目を開催することができました。

参加者は34人で、5、6人のグループを6班作り会場設営をしました。猛暑の中来ていただいた皆さんには、ささやかながらウエルカムドリンク（1杯ずつですが）をふるまいました。

講座は、笹先生の優しくわかりやすい言葉で進み、途中憲法関連のクイズを挟んだり、紙芝居『檻の中のライオン』で立憲主義を説明していただいたり、ワークショップ（憲法24条に「家族は助け合わなければならない」と規定されることが、どのような影響を持ちうるかについて）も行われました。

参加いただいた方からは、「わかりやすかった。」「楽しかった。」というご感想を多くいただきました。ビギナーの方には、今後の憲法関連のニュースを理解し考えるきっかけに、詳しい方にも2回目以降の連続講座へつながる入門編になったのではないかと思います。秋からの憲法を考える連続講座についても、前半の状況をふまえて、職員みんなで検討していくことになっています。みなさんのお越しをお待ちしております。

	日 時	テーマ	講 師
1	7/21（土） 昼2時～4時	憲法入門編 ～憲法カフェ～	笹 泰子（弁護士、 あすわか所属）
2	8/5（日） 昼2時～4時	日本国憲法と日本の 政治～立憲主義と議 会制民主主義～	青井 未帆（学習院 大学教授）
3	8/25（土） 昼2時～4時	沖縄 憲法なき戦後	古関 彰一（獨協大 学名誉教授、和光学 園理事長）
4	8/26（日） 昼2時～5時	教育を受ける権利と 夜間中学校	見城 慶和（元夜間 中学校教諭）

憲法を考える連続講座（前半）のラインナップ

